

近くにある花。
美しい花。
たまには立ち止まって、
ゆっくり見てみる。
その可憐さに感動する。
時間を忘れて、
日々の忙しさを忘れて、
じっくり見てみる。
そしてその美しさを実感する。
そういう時間をすごすこと。
心が素直になる瞬間。



今まで前だけを見て、進み続けたあなたは今、





自分の足もとで隣として咲き誇るその花の存在に、

気づき、驚き、そして目を奪われていることでしょう。



それは思い切って立ち止まることが出来たあなたへの、





小さな小さな「おつかれさま」が詰まったご褒美なのです。

Photo: Kei

Poetry: 猫田しゅぼる

